

免疫学的検査(梅毒血清反応, 感染症(非ウイルス)の血清反応)

項目コード	検査項目	検体・必要量(mL)と保存	容器	検査方法	基準値	実施料区分	備考	報告日数	
梅毒血清反応									
3043	梅毒定性	RPR法	血清 0.4 冷	2	LA (ラテックス凝集比濁法)	(—)	梅毒脂質抗原使用検査	15 免	2~6
3483		TP抗体法						32 免	
3044	梅毒定量	RPR法	血清 0.4 冷	2	LA (ラテックス凝集比濁法)	1.0 R.U. 未満	梅毒脂質抗原使用検査	34 免	2~6
3484		TP抗体法						陰性 10.0 T.U. 未満 判定保留 10.0~19.9 T.U. 陽性 20.0 T.U. 以上 T.U.(Titer Unit)	53 免
感染症(非ウイルス)の血清反応									
3045	ASO定量 (抗streptolysin-O価定量)	血清 0.5 冷	2	ラテックス凝集比濁法	240 IU/mL 以下	15 免	A	2~3	
3064	百日咳菌抗体	血清 0.5 冷	2	EIA法	PT-IgG抗体: 10未満 FHA-IgG抗体: 10未満 EU/mL	257 免	A	4~6	
3051	マイコプラズマ抗体半定量	血清 0.3 冷	2	CF法	血清: 4 倍未満	32 免	急性期と回復期のペア血清で4倍以上の抗体価の上昇があれば血清学的に感染が疑われます ペア血清は凍結で提出してください	4~6	
3883		髄液 0.5 冷	1		髄液: 1 倍未満				
3331		血清 0.2 冷	2	PA法	血清: 40 倍未満	32 免		A	3~4
3332		髄液 0.4 冷	1		髄液: 4 倍未満				
3711	ヘリコバクター・ピロリ抗体 (H.ピロリ抗体)	血清 0.5 冷	2	ラテックス凝集比濁法	(—) 10.0 U/mL 未満	80 免	A	3~4	

免疫学的検査(感染症(非ウイルス)の血清反応)

項目コード	検査項目	検体・必要量(mL)と保存	容器	検査方法	基準値	実施料区分	備考	報告日数											
感染症(非ウイルス)の血清反応																			
7858	アスペルギルス抗原	血清 0.7 冷	2	EIA法	(-) カットオフインデックス 0.5未満	157 免	A	4~6											
7502	カンジダマンナン抗原定性	血清 0.4 冷	2	EIA法	0.05未満	134 免	A	3~4											
3055	トキソプラズマ抗体IgG	血清 0.5 冷	2	CLIA法	(-) 1.6 IU/mL 未満	93 免	A	3~4											
3056	トキソプラズマ抗体IgM	血清 0.5 冷	2	CLIA法	(-) 0.50 Index 未満	95 免	A	3~4											
3709	ツツガムシ病抗体 IgG	ギリアム	2	蛍光抗体法	10 倍未満	203 免	A	4~6											
3707		カトー																	
3705		カープ																	
3710	ツツガムシ病抗体 IgM	ギリアム	2	蛍光抗体法	10 倍未満	203 免	A	4~6											
3708		カトー																	
3706		カープ																	
3700	オウム病抗体	血清 0.3 冷	2	CF法	4 倍未満	79 免	A	4~6											
7520	クラミジア・トラコマチス抗体 (CT-IgA・IgG)	血清 0.4 冷	2	EIA法	(-)	200 免	<table border="1" style="font-size: small; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">(判定基準)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">インデックス値</td><td style="text-align: center;">判定</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">1.10 以上</td><td style="text-align: center;">陽性(+)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">0.90 以上 1.10 未満</td><td style="text-align: center;">判定保留(±)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">0.90 未満</td><td style="text-align: center;">陰性(-)</td></tr> </table>	(判定基準)		インデックス値	判定	1.10 以上	陽性(+)	0.90 以上 1.10 未満	判定保留(±)	0.90 未満	陰性(-)	A	3~4
(判定基準)																			
インデックス値	判定																		
1.10 以上	陽性(+)																		
0.90 以上 1.10 未満	判定保留(±)																		
0.90 未満	陰性(-)																		
7805	エンドトキシン定量	血液 2.0 冷	17	比濁時間分析法	1.0 pg/mL 以下	229 免	検体は無菌的に採取してください 必ず指定容器をご利用ください A	3~5											
7800	エンドトキシン定量 (エンドスペシー法)	水・透析液 4.0 冷	85	発色合成基質 による比色法	EU/mL		A	3~5											

免疫学的検査(ウイルス血清反応)

項目コード	検査項目	検体・必要量(mL)と保存	容器	検査方法	基準値	実施料区分	備考	報告日数			
ウイルス血清反応											
3530	インフルエンザウイルスA型	CF	血清 0.3 冷	2	CF法	4倍 未満	79 免	急性期と回復期のペア血清で4倍以上の抗体価の上昇があれば血清学的に感染が疑われます	4~6		
3532		HI(ワクチン株)	血清 0.2 冷	2	HI法	10倍 未満			4~7		
3540	インフルエンザウイルスB型	CF	血清 0.3 冷	2	CF法	4倍 未満	79 免	同一検体について8項目(複数の測定方法を行った場合であっても)を限度として算定します	4~6		
3542		HI(ワクチン株)	血清 0.2 冷	2	HI法	10倍 未満			4~7		
3550	パラインフルエンザウイルス	1型	血清 0.2 冷	2	HI法	10倍 未満	79 免		4~7		
3551		2型	血清 0.2 冷	2							
3552		3型	血清 0.2 冷	2							
3553		4型	血清 0.2 冷	2							
3520	ムンプスウイルス	HI	血清 0.2 冷	2	HI法	4倍 未満	79 免	ウイルスEIA判定基準 IgG抗体(血清)	4~6		
3521		CF	血清 0.3 冷	2	CF法						
3522		NT	血清 0.2 冷	2	NT法						
3525		IgG-EIA	血清 0.4 冷	2	EIA法	(-)	200 免	判定	EIA価	8~14	
3524		IgM-EIA	血清 0.4 冷	2	EIA法(補足法)	(-)		-	2.0 未満	3~4	
3512	麻疹ウイルス	NT	血清 0.2 冷	2	NT法	4倍 未満	79 免	IgM抗体(血清)	判定	抗体指数	8~14
3514		IgG-EIA	血清 0.4 冷	2	EIA法	(-)	200 免		-	0.8 未満	3~4
3513		IgM-EIA	血清 0.4 冷	2	EIA法(補足法)	(-)			±	0.8~1.2	3~4
3500	風疹ウイルス	HI	血清 0.2 冷	2	HI法	8倍 未満	79 免		判定	抗体指数	4~5
3506		IgG-EIA	血清 0.4 冷	2	EIA法	(-)	200 免		+	1.21 以上	4~5
3505		IgM-EIA	血清 0.4 冷	2	EIA法(補足法)	(-)			A	3~4	
3601	アデノウイルス	血清 0.3 冷	2	CF法	4倍 未満	79 免		A	4~6		

※ 事前にご相談ください。

免疫学的検査(ウイルス血清反応)

項目コード	検査項目	検体・必要量(mL)と保存	容器	検査方法	基準値	実施料区分	備考	報告日数																									
ウイルス血清反応																																	
3570	水痘帯状疱疹ウイルス	CF	血清 0.3 冷	2	CF法	4倍 未満	79 免	急性期と回復期のペア血清で4倍以上の抗体価の上昇があれば血清学的に感染が疑われます	4~6																								
3576		IgG-EIA	血清 0.4 冷	2	EIA法	(-)	200 免		同一の検体について8項目(複数の測定方法を行った場合であっても)を限度として算定します	3~4																							
3575		IgM-EIA	血清 0.4 冷	2	EIA法(補足法)	(-)																											
3580	単純ヘルペスウイルス	CF	血清 0.3 冷	2	CF法	4倍 未満	79 免	ウイルスEIA判定基準 IgG抗体(血清) <table border="1" style="margin: 5px 0;"> <tr><th>判定</th><th>EIA価</th></tr> <tr><td>-</td><td>2.0 未満</td></tr> <tr><td>±</td><td>2.0~3.9</td></tr> <tr><td>+</td><td>4.0 以上</td></tr> </table> IgM抗体(血清) <table border="1" style="margin: 5px 0;"> <tr><th>判定</th><th>抗体指数</th></tr> <tr><td>-</td><td>0.8 未満</td></tr> <tr><td>±</td><td>0.8~1.2</td></tr> <tr><td>+</td><td>1.21 以上</td></tr> </table> IgG抗体(髄液) (単純ヘルペスのみ) <table border="1" style="margin: 5px 0;"> <tr><th>判定</th><th>EIA価</th></tr> <tr><td>-</td><td>0.20 未満</td></tr> <tr><td>±</td><td>0.20~0.39</td></tr> <tr><td>+</td><td>0.40 以上</td></tr> </table>	判定	EIA価	-	2.0 未満	±	2.0~3.9	+	4.0 以上	判定	抗体指数	-	0.8 未満	±	0.8~1.2	+	1.21 以上	判定	EIA価	-	0.20 未満	±	0.20~0.39	+	0.40 以上	4~6
判定		EIA価																															
-		2.0 未満																															
±		2.0~3.9																															
+		4.0 以上																															
判定		抗体指数																															
-	0.8 未満																																
±	0.8~1.2																																
+	1.21 以上																																
判定	EIA価																																
-	0.20 未満																																
±	0.20~0.39																																
+	0.40 以上																																
3586	1型 NT	血清 0.3 冷	2	NT法	4倍 未満	79 免	A	8~11																									
3587	2型 NT	血清 0.3 冷	2	NT法																													
3585	IgG-EIA	血清 0.4 冷	2	EIA法	(-)	200 免		3~4																									
3584	IgM-EIA	血清 0.4 冷	2	EIA法(補足法)	(-)																												
3670	エンテロウイルス70型	血清 0.2 冷	2	NT法	4倍 未満				9~15																								
3671	エンテロウイルス71型	血清 0.2 冷	2	NT法	4倍 未満																												
3600	RSウイルス	血清 0.3 冷	2	CF法	4倍 未満	79 免	4~6																										
3590	サイトメガロウイルス	CF	血清 0.3 冷	2	CF法	4倍 未満	79 免	4~6																									
3595		IgG	血清 0.5 冷	2	CLIA法	(-) 抗体濃度6.1未満 AU/mL	200 免	3~4																									
3594		IgM	血清 0.5 冷	2	CLIA法	(-) Index 0.85未満																											

免疫学的検査(ウイルス血清反応)

項目コード	検査項目	検体・必要量(mL)と保存	容器	検査方法	基準値	実施料区分	備考	報告日数	
ウイルス血清反応									
3651	エコーウイルス3型	血清 0.2 冷	2	NT法	4倍 未満	79 免	急性期と回復期のペア血清で4倍以上の抗体価の上昇があれば血清学的に感染が疑われます 同一検体について8項目(複数の測定方法を行った場合であっても)を限度として算定します	9~15	
3652	エコーウイルス4型	血清 0.2 冷	2						
3653	エコーウイルス6型	血清 0.2 冷	2						
3654	エコーウイルス7型	血清 0.2 冷	2						
3655	エコーウイルス9型	血清 0.2 冷	2						
3656	エコーウイルス11型	血清 0.2 冷	2						
3621	コクサッキーウイルスA9型	血清 0.2 冷	2	NT法				9~15	
3631	コクサッキーウイルスA16型	血清 0.2 冷	2						
3622	コクサッキーウイルスB1型	血清 0.3 冷	2	CF法	4倍 未満	79 免		4~6	
3623	コクサッキーウイルスB2型	血清 0.3 冷	2						
3624	コクサッキーウイルスB3型	血清 0.3 冷	2						
3625	コクサッキーウイルスB4型	血清 0.3 冷	2						
3626	コクサッキーウイルスB5型	血清 0.3 冷	2						
3627	コクサッキーウイルスB6型	血清 0.3 冷	2						
3695	EBウイルス	VCA抗体IgG	血清 0.2 冷	蛍光抗体法	10倍 未満	200 免		3~5	
3696		VCA抗体IgA	血清 0.2 冷			79 免			
3691		VCA抗体IgM	血清 0.2 冷			200 免			
3693		EA抗体IgG	血清 0.2 冷			2			
3694		EA抗体IgA	血清 0.2 冷			79 免			
3692		EA抗体IgM	血清 0.2 冷			2			
3697		EBNA抗体	血清 0.2 冷			2			蛍光抗体法
3560	日本脳炎ウイルス	CF	血清 0.3 冷	CF法	4倍 未満	79 免		4~6	
3563		JaGAR株 中山株	血清 0.2 冷	2	HI法			10倍 未満	A
3716	HTLV-I 抗体	CLIA	血清 0.5 冷	CLIA法	(-)	159免		3~5	
3767			髄液 0.5 冷		1				(-)
3718		ラインプロット	血清 0.2 冷	LIA法 (ラインプロット法)	(-)	425免		A	4~10
3769			髄液 0.2 冷		1				

免疫学的検査(HIV, HA抗体, HB抗原・抗体)

項目コード	検査項目	検体・必要量 (mL)と保存	容器	検査方法	基準値	実施料区分	備考	報告日数
HIV								
3719	HIV抗原・抗体-CLIA	血清 0.5 冷	2	CLIA法	判定: (-) S/CO: 1.00未満	127 免	【親展報告】 必ずHIV専用容器として単独 検体で提出してください 採血後遠心分離し、そのまま 冷蔵保存して提出します 単独検体	4~6
3724	HIV-1/2抗体確認検査	血清 0.3 冷	2	免疫クロマト法 (イムノクロマト 法)	(-)	660 免		4~7 A
3744	HIV-1核酸定量/リアルタイム △PCR	血漿 2.0 冷	80	RT-PCR法 (リアルタイムPCR法)	検出せず copy/mL	520 微	開封厳禁 単独検体 汚染の影響を受けやすい検査法のため、核酸増幅法以外の検査項目との重複依頼は避けてください 採血後、遠心分離を行い血球成分と血漿を確実に分離してください A	4~6 A
HA抗体								
3185	HA抗体-IgG	血清 0.6 冷	2	CLIA法	(-) ●S/CO 1.00 未満	146 免	HA抗体-IgMとHA抗体-IgG を同時に測定しても、一方の 所定点数のみを算定します A	3~4
3186	HA抗体-IgM	血清 0.6 冷	2	CLIA法	(-) ●S/CO 0.80 未満	146 免		3~4 A
HB抗原・抗体								
3489	HBs抗原(精密測定)	血清 0.5 冷	2	CLIA法	(-) 0.05 IU/mL 未満	88 免	B	3~4
3490	HBs抗体(精密測定)	血清 0.5 冷	2	CLIA法	(-) 10.0 mIU/mL 未満	88 免	B	3~4
3177	HBe抗原	血清 0.5 冷	2	CLIA法	(-) ●S/CO 1.0 未満	98 免	A	2~4
3178	HBe抗体	血清 0.6 冷	2	CLIA法	(-) 阻害率 50.0% 未満	98 免	A	2~4
3182	HBc抗体-IgM	血清 0.5 冷	2	CLIA法	(-) ●S/CO 1.0 未満	146 免	A	2~4
3179	HBc抗体/CLIA	血清 0.5 冷	2	CLIA法	(-) ●S/CO 1.00 未満	130 免	A	2~4
3745	HBV-DNA定量/リアルタイム PCR	血清 2.0 凍※	82	リアルタイム PCR法	検出せず L.IU/mL (Log IU/mL)	256 微	開封厳禁 単独検体 必ず血漿用ウイルス専用容器とし て単独検体で提出してください 採血後遠心分離し、そのまま凍結 保存して提出します A	4~6 A

※ 前日までにしてお問合わせください。

●S/CO = Sample RLU/cut off = カットオフインデックスに相当

68ページ参照

免疫学的検査(HCV, HDV, 腫瘍マーカー)

項目コード	検査項目	検体・必要量 (mL)と保存	容器	検査方法	基準値	実施料 区分	備考	報告 日数
HCV								
3491	HCV抗体	血清 0.3 冷	2	CLIA法	(－)	102 免	B	3～4
3743	HCV核酸定量 (HCV-RNA定量/リアルタイムPCR)	血清 2.0 凍※	82	RT-PCR法 (リアルタイムPCR法)	検出せず L.IU/mL(Log IU/mL)	412 微	開封厳禁 単独検体 必ずウイルス専用容器として 単独検体で提出してください 採血後遠心分離し、そのまま 凍結保存して提出します A	4～5
3268	HCV-群別	血清 0.6 冷	2	CLEIA法	結果報告: Group1 Group2 判定保留 (ホリユウ) 判定不能 (不検出)	215 免	A	3～4
3252	HCVコア蛋白-HS	血清 0.6 冷	2	CLIA法	3.0 fmol/L 未満	102 免	A	3～4
3199	HCV-RNAジェノタイプ	血清 0.5 凍※	18	リアルタイム RT-PCR法			開封厳禁 単独検体 結果報告: 1A, 1B, 2A, 2B, 3A または「検出されず」 A	4～10
HDV								
3164	HDV-RNA (D型肝炎ウイルス-RNA定 性)	血清 0.5 凍※	18	RT-PCR法	(－)		開封厳禁 単独検体 A	8～15
腫瘍マーカー								
3492	α-フェトプロテイン (AFP)	血清 0.3 冷	2	CLIA法	10.0 ng/mL 以下	98 生 II	B	3～4
3493	CEA (癌胎児性抗原)	血清 0.3 冷	2	CLIA法	5.0 ng/mL 以下	99 生 II	B	3～4
3494	CA19-9	血清 0.4 冷	2	CLIA法	37.0 U/mL 以下	121 生 II	B	3～4
3225	塩基性フェトプロテイン (BFP)	血清 0.6 冷	1	EIA法	75 ng/mL 未満	150 生 II	溶血不可 分離剤入りの容器で採血しな いでください A	3～6
3219	SLX	血清 0.4 冷	2	IRMA法 (RIA・固相法)	38.0 U/mL 以下	140 生 II	溶血注意 A	4～6
3221	STN	血清 0.4 冷	2	RIA・固相法	45.0 U/mL 以下	146 生 II	A	3～4
3495	CA125	血清 0.4 冷	2	CLIA法	35.0 U/mL 以下	136 生 II	B	3～4
3212	CA15-3	血清 0.5 冷	2	CLIA法	31.3 U/mL 以下	112 生 II	A	3～4
3234	CA546(CA54/61)	血清 0.6 冷	2	EIA法	12.0 U/mL 以下	184 生 II	A	3～5
3233	CA602	血清 0.6 冷	2	EIA法	63.0 U/mL 以下	190 生 II	A	3～5
3226	CA72-4	血清 0.5 冷	2	ECLIA法	6.9 U/mL 以下	146 生 II	A	3～4

※ 前日までにお問合わせください。

68ページ参照

免疫学的検査(腫瘍マーカー)

項目コード	検査項目	検体・必要量(mL)と保存	容器	検査方法	基準値	実施料区分	備考	報告日数
腫瘍マーカー								
3227	BCA225	血清 0.6 冷	2	CLEIA法	160.0 U/mL 未満	158 生II	A	3~4
3224	NCC-ST-439	血清 0.6 冷	2	EIA法	M,F(50歳以上): 4.5 U/mL 未満 F(49歳以下): 7.0 U/mL 未満	112 生II	A	3~4
3215	DUPAN-2	血清 0.3 冷	2	EIA法	150 U/mL 以下	115 生II	A	4~6
3214	SCC抗原	血清 0.5 冷	2	CLIA法	1.5 ng/mL 以下	101 生II	A	2~4
3220	γ-セミノプロテイン	血清 0.4 凍	2	CLEIA法	4.00 ng/mL 以下	192 生II	A	5~6
2480	PSA-LA	血清 0.5 冷	2	ラテックス凝集法	4.00 ng/mL 以下	121 生II		2~3
3496	高感度PSA	血清 0.5 冷	2	CLIA法	4.000 ng/mL 以下	121 生II	A	3~6
3218	神経特異エノラーゼ精密測定(NSE)	血清 0.4 冷	2	ECLIA法	16.3 ng/mL 以下	142 生II	溶血は高値の影響があります ビオチンを投与している患者(1日の投与量5mg以上)からの採血は、投与後、少なくとも8時間以上経過してから実施してください	A 3~4
3235	SPan-1	血清 0.4 冷	2	IRMA法 (RIA・固相法)	30.0 U/mL 以下	144 生II	A	3~4
3200	α ₁ -酸性糖蛋白	血清 0.5 冷	2	ネフェロメトリー法	42~93 mg/dL		A	3~4
3229	PIVKA-II	血清 0.6 冷	2	CLIA法	40 mAU/mL 未満	131 生II	A	3~4
3194	CYFRA (サイトケラチン19フラグメント)	血清 0.5 冷	2	ECLIA法	3.5 ng/mL 以下	154 生II	A	3~4

68ページ参照

免疫学的検査(血漿蛋白)

項目コード	検査項目	検体・必要量(mL)と保存	容器	検査方法	基準値	実施料区分	備考	報告日数	
血漿蛋白									
3091	C-反応性蛋白(CRP)	定性	血清 0.5 冷	2	ラテックス凝集法	(—)		2~4	
3092		定量							0.30 mg/dL
1017	血清アミロイドA蛋白	血清 0.5 冷	2	ラテックス凝集法	3.0 mg/L 以下	47 免	A	3~4	
3093	免疫グロブリン	IgG	血清 0.7 一種につき 0.5 冷	2	免疫比濁法	820~1740 mg/dL	各 38 免	3~4	
3094		IgA							90~400 mg/dL
3095		IgM							M: 31~200 mg/dL F: 52~270 mg/dL
3115	血清補体価(CH ₅₀)	血清 0.5 凍※	2 ↓ 1	免疫溶血濁度測定法	30~45 U/mL	38 免	A	3~4	
3116	C3	血清 0.5 冷	2	免疫比濁法(TIA法)	80~140 mg/dL	70 免	A	3~4	
3117	C4	血清 0.5 冷	2	免疫比濁法(TIA法)	11.0~34.0 mg/dL	70 免	A	3~4	
3195	プレアルブミン	血清 0.5 冷	2	ネフェロメトリー法	22.0~40.0 mg/dL	101 免	A	3~4	
3127	α ₁ -アンチトリプシン	血清 0.5 冷	2	ネフェロメトリー法	94~150 mg/dL	80 血	A	3~4	
3126	α ₂ -マクログロブリン	血清 0.5 冷	2	ネフェロメトリー法	M: 100~200 mg/dL F: 130~250 mg/dL	138 血	A	3~4	
3128	セルロプラスミン	血清 0.5 冷	2	ネフェロメトリー法	21.0~37.0 mg/dL	90 免	A	3~4	
3129	ハプトグロビン 型判定なし	血清 0.5 冷	2	ネフェロメトリー法	19~170 mg/dL	129 免	A	3~4	
3130	トランスフェリン	血清 0.5 冷	2	免疫比濁法	190~320 mg/dL	60 免	A	3~4	
3125	α ₁ -ミクログロブリン	血清 0.5 冷	2	ラテックス凝集法	9.7~19.9 mg/L	129 免	A	3~4	
3124		尿 1.0 冷	1		M: 0.8~14.1 mg/L F: 0.5~7.0 mg/L			3~4	
3131	クリオグロブリン	血清 2.0 冷	2	寒冷沈殿法	(—)	42 免	採血時から血清分離は37°C保温状態で行ってください A	4~6	

※ 前日までにお問合わせください。

68ページ出血・凝固参照

免疫学的検査(血漿蛋白, 特異的IgE)

項目コード	検査項目	検体・必要量(mL)と保存	容器	検査方法	基準値	実施料区分	備考	報告日数
血漿蛋白								
3132	免疫電気泳動	血清 0.5 冷	2	免疫固定電気泳動法(IFE法)		218 免	A	4~7
3137	血清中ベンスジョーンズ蛋白同定	血清 0.5 冷	2	免疫固定電気泳動法(IFE法)		218 免	A	6~10
3133	尿中ベンスジョーンズ蛋白同定	尿 2.0 冷	1			201 免		
3134	オリゴクローナルバンド	血清 0.6 髄液 0.6 冷※	1	等電点電気泳動法	(-) バンド数 0~1	522 尿	血清と髄液はペアでご提出ください 血清、髄液を同時に採取できない場合は、24時間以内の採取して両材料を併せてご提出ください 報告されるバンド数1本とは、血清中にはなく、髄液中にのみ検出されるバンドを意味します	6~10 A
特異的IgE								
3097	非特異的IgE	血清 0.5 冷	2	FEIA法	170 IU/mL 以下	100 免	A	3~4
	特異的IgE (CAPシングルアレルゲン)	一種につき 血清 0.3 冷	2	FEIA法	0.34 UA/mL 以下	110 免	A	3~4
3450	アトピー鑑別試験 (ファディアトープ)	血清 0.3 冷	2	FEIA法	(-)	194 免	12種類の吸引性アレルゲン特異的IgE量測定します	3~4 A
4200	View39 アレルギー39	血清 0.9 冷		FEIA法	インデックス値 0.27未満	1430 免	View39のアレルゲンの内容は下部情報をご参照ください	3~4
4400	特異的IgE CAP マルチアレルゲン	イネ科	各項目につき 血清 0.3 冷	2	FEIA法	0.34 UA/mL 以下	1群につき 各 110 免	3~4
4401		雑草						
4402		食物						
4403		穀物						
4404		動物上皮						
4405		カビ						
							A	

特異的IgE検査は、特異抗原の種類ごとに所定点数を算定します。ただし、患者から1回に採取した血液を用いて検査を行った場合は、1,430点を限度として算定します。

※ 前日までにお問合わせください。

View39

吸入系抗原		食餌系抗原	
ヤケヒョウヒダニ	かもがや	卵白	カニ
ハウスダスト1	おおあわがえり	オボムコイド	キウイ
ネコ皮膚	ぶたくさ	ミルク	リンゴ
イヌ皮膚	よもぎ	小麦	バナナ
ゴキブリ	アルテルナリア	大豆	鶏肉
ガ	アスペルギルス	そば	牛肉
すぎ	カンジダ	ピーナッツ	豚肉
ヒノキ	マラセチア(属)	米	まぐろ
はんのき(属)	ラテックス	ごま	さけ
しらかんば(属)		エビ	サバ

特異的IgE(CAP-アレルゲン)のアレルゲン種類

アレルゲン名	アレルゲン名	アレルゲン名	アレルゲン名	アレルゲン名
イネ科植物花粉(Grasses)	樹木花粉(Trees)	動物上皮(Epithelia)	食餌性アレルゲン(Foods)	食餌性アレルゲン(Foods)
かもがや	すぎ	ネコ皮膚	卵白	大豆
はるがや	ヒノキ	イヌ皮膚	卵黄	Gly m 4(大豆由来)
おおあわがえり	はんのき(属)	ハムスター上皮	オボムコイド(卵白由来)	ピーナッツ
ぎょうぎしば	しらかんば(属)	モルモット上皮	ミルク	Ara h 2(ピーナッツ由来)
ながはぐさ	びやくしん(属)	家兎上皮	チーズ	クルミ[食物]
おおすずめのてっぽう	まつ(属)	ラット	カゼイン(牛乳由来)	Jug r 1(クルミ由来)
ひろはうしのけぐさ	かえで(属)	マウス	α-ラクトアルブミン(牛乳由来)	カシューナッツ
ほぞむぎ	ぶな(属)	セキセイインコ羽毛	β-ラクトグロブリン(牛乳由来)	Ana o 3(カシューナッツ由来)
あし	こなら(属)	セキセイインコのふん	モールドチーズ	はしばみ[ヘーゼルナッツ]
こぬかぐさ(属)	にれ(属)	ニワトリ羽毛	サバ	カカオ
せいばんもろこし	オリーブ	ガチョウ羽毛	アジ	えんどう
小麦(属)[花粉]	くるみ(属)	アヒル羽毛	イワシ	いんげん
すずめのひえ(属)	やなぎ(属)	ウマ皮膚	まぐろ	ブラジルナッツ
	アカシア(属)	ウシ皮膚	さけ	アーモンド
	くわ(属)	ヤギ上皮	たら	ココナッツ
雑草花粉(Weeds)		羊上皮	カレイ	リンゴ
ぶたくさ	ダニ(Mites)	豚上皮	イクラ	バナナ
よもぎ	ヤケヒョウヒダニ		たらこ	オレンジ
カナムグラ	コナヒョウヒダニ		カニ	モモ
あきのきりんそう	アシトコナダニ		エビ	キウイ
たんぼぼ(属)	サヤアシニクダニ		ロブスター	スイカ
ぶたくさもどき	ケナガコナダニ	寄生虫(Parasites)	イカ	いちご
おおぶたくさ		アニサキス	タコ	メロン
にがよもぎ	室内塵(House dust)	カイチュウ	アサリ	アボカド
ふらんすぎく	ハウスダスト1		カキ(貝)	グレープフルーツ
へらおおぼこ	ハウスダスト2		ホタテ	マンゴ
しろぎ		昆虫(Insects)	ムラサキイカ[ムール貝]	洋なし
ひめすいば	真菌(カビ)/細菌(Mould and Bacteria)	ガ	小麦[植物]	ヤマイモ
いらくさ(属)	カンジダ	ゴキブリ	ω-5グリアジン(小麦由来)	トマト
	マラセチア(属)	ユスリカ(成虫)	グルテン	にんじん
	ビール酵母	ヤブカ(属)	米	じゃがいも
	ペニシリウム	ミツバチ	そば	ホウレンソウ
	クラドスポリウム	スズメバチ	ライ麦	たまねぎ
	アスペルギルス	アシナガバチ	大麦	にんにく
アレルゲンコンポーネント	ムコール		オート麦	タケノコ
Ana o 3(カシューナッツ由来)	アルテルナリア		とうもろこし	カボチャ
Ara h 2(ピーナッツ由来)	ヘルミントスポリウム		キビ	サツマイモ
Gly m 4(大豆由来)	トリコフィトン		アワ	セロリ
Jug r 1(クルミ由来)	黄色ブドウ球菌A		麦芽	パセリ
α-ラクトアルブミン(牛乳由来)	黄色ブドウ球菌B		豚肉	
β-ラクトグロブリン(牛乳由来)			牛肉	その他
カゼイン(牛乳由来)			鶏肉	ごま
ω-5グリアジン(小麦由来)			羊肉	マスタード
オボムコイド(卵白由来)				ゼラチン
Hev b 6.02(ラテックス由来)				ビール酵母

アレルゲン検索セット

チアレルゲン	
イネ科	ハルガヤ、ギョウギシバ、カモガヤ、オオアワガエリ、アシ
雑草	ブタクサ、ヨモギ、フランスギク、タンポポ(属)、アキノキリンソウ
食物	卵白、ミルク、小麦、ピーナッツ、大豆
穀物	小麦、トウモロコシ、米、ゴマ、ソバ
動物上皮	ネコ皮膚、イヌ皮膚、モルモット上皮、ラット、マウス
カビ	ペニシリウム、クラドスポリウム、アスペルギルス、カンジダ、アルテルナリア、ヘルミントスポリウム

アトピー鑑別試験

(多項目吸入性アレルゲン特異的IgE-混合アレルゲン名:12種類)

ヤケヒョウヒダニ、コナヒョウヒダニ、ネコ皮膚、イヌ皮膚、ギョウギシバ、カモガヤ、ブタクサ、ヨモギ、シラカンバ(属)、スギ、カンジダ、アルテルナリア

●アレルゲンは一時的に入手不可能な場合がありますので、ご了承ください。

免疫学的検査(免疫血液学的検査)

項目コード	検査項目	検体・必要量 (mL)と保存	容器	検査方法	基準値	実施料区分	備考	報告日数
免疫血液学的検査								
3485	ABO式血液型	血液 2.0* 又は 3.0** 冷	5* 又は 3**	カラム凝集法		24 免	※1	3~4
3486	Rh(D)式血液型			カラム凝集法		24 免		B
3025	Rh-Hr式血液型(5因子)	血液 3.0 冷	81	試験管法		148 免	A	3~4
3030	血液型不適合(ABO抗体)	血液 5.0 冷	3	DTT処理法	(-)		子供及び夫のABO式血液型をお知らせください	A 3~4
3036	不規則抗体	血清 5.0 冷 血液 3.0 室 各1本提出 (2本必要)	2 及び 5	カラム凝集法 (酵素法) (クームス法)	(-)	159 免	血清と血液をペアで提出してください 血清につきましては血液を採取後速やかに分離して冷蔵保存してください 血液は室温保存してください ※2	A 3~4
3033	直接クームス試験	血液 1.0 室	3	カラム凝集法	(-)	34 免	冷蔵せず室温にて提出してください 単独で提出してください	A 3~4
3034	間接クームス試験	血液 5.0 冷	3	カラム凝集法	(-)	47 免		A 3~4
3037	抗血小板抗体	血清 0.3 冷	2	混合受身凝集法	(-)	261 免		A 4~7

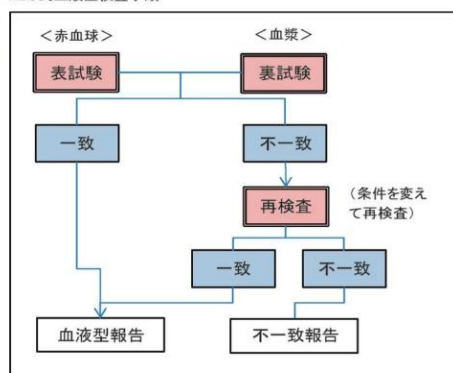
※1 血液型検査の留意点

【 ABO式血液型 】

検査機器	オートビュー	オーソ
検査試薬	カラム 裏試験用血球	バイオビュー抗A、抗B、抗Dカセット オーソ

- 1) 生後1歳までは、血漿中の抗体価が低いため表試験のみでの報告となります。
1歳未満の幼児の場合、必ず月齢あるいは生年月日を検査依頼書にご記入下さい。
- 2) 表試験・裏試験の結果が一致した場合のみ、血液型を報告致します。
- 3) 表試験・裏試験が一致しない場合には「不一致」、反応が通常と異なる場合には「判定保留」と報告致します。
なお、上記の場合の精査は実施しておりません(亜型など)。
- 4) 異型輸血や造血細胞移植後の検体では、正しく判定できない場合があります。
- 5) 一部の亜型やキメラ・モザイクなどの場合、正しく判定できない場合があります。
- 6) 検査案内書に記載された要件と異なる検体材料種・量・容器にてのご依頼に対しては、検査を受託できない場合がありますので、ご注意下さい。

ABO式血液型検査手順

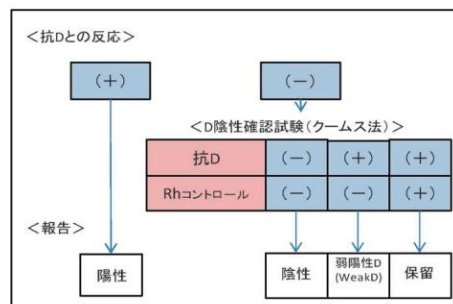


【 Rh式血液型 】

検査機器	オートビュー	オーソ
検査試薬	カラム	バイオビュー抗A、抗B、抗Dカセット オーソ

- 1) Rh式血液型の変異型の検索は実施しておりません。
- 2) 抗Dには、モノクローナル抗体を使用しています。
- 3) 抗Dとの反応で対照試料が陽性となった場合、または通常と異なる反応を示した場合は「判定保留」と報告致します。
- 4) 異型輸血や造血細胞移植後の検体では、正しく判定できない場合があります。
- 5) D陰性確認試験は、試験管法を実施致します。
- 6) 検査案内書に記載された要件と異なる検体材料種・量・容器にてのご依頼に対しては、検査を受託できない場合がありますので、ご注意下さい。

Rh式血液型検査手順



※2 不規則抗体検査は、輸血歴又は妊娠歴のある患者に対し、胸部手術、心・脈管手術、腹部手術又は帝王切開術が行われた場合に、手術の当日に算定します。また、手術に際して輸血が行われた場合は、本区分(免疫)の赤血球不規則抗体検査又は区分「K920」輸血に定める不規則抗体検査加算のいずれかを算定します。この場合、診療報酬明細書の摘要欄に輸血歴又は妊娠歴がある旨を記載してください。

免疫学的検査(自己抗体)

項目コード	検査項目	検体・必要量(mL)と保存	容器	検査方法	基準値	実施料区分	備考	報告日数
自己抗体								
3050	寒冷凝集反応	血清 0.3 冷	2	HA法	64倍 未満	11 免	できるだけ速やかに血清分離し、血清で提出してください 血清を分離するまで37℃、少なくとも20℃以上の室温で操作してください	4~5 A
3075	抗核抗体	血清 0.3 冷	2	蛍光抗体法	40倍 未満	99 免		A 3~5
3078	抗DNA抗体	血清 0.3 冷	2	RIA-硫酸法	6.0 IU/mL 以下	159 免		A 3~4
3080	抗ds-DNA抗体IgG	血清 0.3 冷	2	FEIA法	判定基準 U/mL (-) 10.0 未満 (±) 10.0 以上 15.0 以下 (+) 15.0 を超える	159 免		A 3~4
3081	抗ss-DNA抗体IgG	血清 0.3 冷	2	FEIA法	判定基準 U/mL (-) 7.0 未満 (±) 7.0 以上 10.0 以下 (+) 10.0 を超える	159 免		A 3~4
3083	抗RNP抗体	血清 0.3 冷	2	FEIA法	判定基準 U/mL (-) 3.5 未満 (±) 3.5 以上 5.0 以下 (+) 5.0 を超える	144 免		A 3~4
4102	抗Sm抗体	血清 0.3 冷	2	FEIA法	判定基準 U/mL (-) 7.0 未満 (±) 7.0 以上 10.0 以下 (+) 10.0 を超える	147 免		A 3~4
3110	抗Scl-70抗体	血清 0.3 冷	2	FEIA法	判定基準 U/mL (-) 7.0 未満 (±) 7.0 以上 10.0 以下 (+) 10.0 を超える	157 免		A 3~4
4100	抗SS-A/Ro抗体	血清 0.3 冷	2	FEIA法	判定基準 U/mL (-) 7.0 未満 (±) 7.0 以上 10.0 以下 (+) 10.0 を超える	161 免		A 3~4
4101	抗SS-B/La抗体	血清 0.3 冷	2	FEIA法	判定基準 U/mL (-) 7.0 未満 (±) 7.0 以上 10.0 以下 (+) 10.0 を超える	157 免		A 3~4
3272	RF(リウマトイド因子)定量	血清 0.5 冷	2	ラテックス凝集比濁法	15 IU/mL 以下	30 免		2~3
3270	IgG型リウマチ因子	血清 0.6 冷	2	EIA法	(-) インデックス(IgG RF値) 2.0 未満	198 免	※1	A 3~5
3084	抗ミトコンドリア抗体半定量	血清 0.2 冷	2	蛍光抗体法	20 倍 未満	181 免		A 3~5
3090	抗ミトコンドリアM2抗体定量	血清 0.3 冷	2	CLEIA法	インデックス値 7.0未満	189 免		A 3~4

※ 前日までにお問合わせください。

68ページ自己抗体参照

※1 リウマトイド因子(RF)、抗ガラクトース欠損IgG抗体、併せて実施した場合には、主たるもののみ算定します。
 リウマトイド因子(RF)、抗ガラクトース欠損IgG抗体、マトリックスメタロプロテイナーゼ(MMP-3)、モノクローナルRF結合免疫複合体、IgGリウマトイド因子、3項目以上を併せて実施した場合には主たるもの2つに限り算定する。

免疫学的検査(自己抗体, 細胞性免疫検査)

項目コード	検査項目	検体・必要量 (mL)と保存	容器	検査方法	基準値	実施料区分	備考	報告日数
自己抗体								
3105	抗系球体基底膜抗体 (抗GBM抗体)	血清 0.3 冷	2	FEIA法	判定基準 U/mL (-) 7.0 未満 (±) 7.0 以上 10.0 以下 (+) 10.0 を超える	262 免		3~4 A
細胞性免疫検査								
3145	T細胞・B細胞百分率	血液 3.0 室	78	フローサイトメトリー法	T細胞 (CD3) 54.3~81.9 % B細胞 (CD19) 2.9~20.1 %	193 免	検体は採血当日に提出してください 休日前日の受付はできません	3~5 A
3146	B細胞表面免疫グロブリン	血液 3.0 室 骨髄液 1.0 冷	78 74	フローサイトメトリー法	Sm-IgG 0.0~3.8 % Sm-IgA 0.0~4.5 % Sm-IgM 3.5~17.5 % Sm-IgD 2.1~14.4 % Sm-Ig κ 2.9~15.9 % Sm-Ig λ 3.1~12.6 %	155 免	検体は採血当日に提出してください 休日前日の受付はできません 疾患名を必ず記入してください ヘパリン入り専用容器で無菌的に採血して提出してください	3~5 A
3147	リンパ球幼若化検査	1項目につき 血液 5.0 2項目以上 血液 10.0 室	78	分離培養法による ³ H-サイミジン取り込み能	PHA S.I. 147.5~1251.3 Con-A S.I. 38.1~385.5	345 免	検体は採血当日に提出してください 休日前日の受付はできません ヘパリン入り専用容器で無菌的に採血して提出してください 採取後の開栓厳禁	7~9 A
3148	薬剤リンパ球刺激試験 (DLST)	血液 10.0 1薬剤増す毎に 5mL追加 室	78	³ H-サイミジン取り込み能	S.I. ⊕ ≥ 1.8 ⊕ 1.6~1.7	1薬剤 345 免 2薬剤 425 免 3薬剤以上 515 免	被疑医薬品を必ず添付してください 被疑医薬品にヘパリンを含む場合、採血容器はすべて専用容器に統一してご提出してください 休日前日の受付はできません 検体は採血当日に提出してください 採取後の開栓厳禁	8~10 A

免疫学的検査(細胞性免疫検査)

項目コード	検査項目	検体・必要量(mL)と保存	容器	検査方法	基準値	実施料区分	備考	報告日数	
細胞性免疫検査									
3154	NK活性	血液 10.0 室	78	⁵¹ Cr.遊離法	E/T比 10:1 8.9~29.5 % 20:1 17.1~48.7 %		ヘパリン入り専用容器で無菌的に採血して提出してください 検体は採血当日に提出してください 休日前日の受付はできません 採取後の開栓厳禁	4~6 A	
3155	TNF- α (高感度)	血清 0.3 凍※	41	EIA法	pg/MI		単独検体で提出してください		
3314	インターロイキン5 (IL-5)	血清 0.5 凍※	41	EIA法	4 pg/mL 未満				
3315	インターロイキン6 (IL-6)	血清 0.5 凍※	41	ECLIA法	7.0 pg/mL 以下			A 3~4	
3150	Single-color解析による細胞表面マーカー検査	血液 3.0 (ヘパリン加血) 室	78	フローサイトメトリー法		%	※1 ※2	血液はヘパリン入り採血管を使用し、採血後直ちに十分混和してください 休日前日の受付はできません	3~5
		骨髓液 1.0 冷	84						
		その他 冷	83						
3151	Two-color解析による細胞表面マーカー検査	血液 3.0 (ヘパリン加血) 室	78	フローサイトメトリー法		%	※1 ※2	血液はヘパリン入り採血管を使用し、採血後直ちに十分混和してください 休日前日の受付はできません	3~5
		骨髓液 1.0 冷	84						
		その他 冷	83						
4801	CD45 BlastGating法による急性白血病解析	血液 3.0 (ヘパリン加血) 室	78	フローサイトメトリー法 (CD45-SSC Gating)		%	※1 ※2	モノクローナル抗体法による造血器悪性腫瘍細胞検査 受託可能日:月~金	3~5
		骨髓液 1.0 冷	84						
		その他 冷	83						

※ 前日までにお問合わせください。

●フローサイトメトリー法による細胞表面マーカー検査

提出条件 検体は採血後速やかに、必ず当日中にご提出ください。

リンパ球の少ない患者様は、多めに採血をお願い致します。

実施料	○フローサイトメトリー法によるT細胞・B細胞百分率検査	193点	免
	○モノクローナル抗体法によるT細胞サブセット検査一連につき	185点	免※1
	○表面免疫グロブリン測定検査一連につき	155点	免
	○モノクローナル抗体法による造血器悪性腫瘍細胞検査一連につき	1,940点	血※2

※1 モノクローナル抗体法によるT細胞サブセット検査は、免疫不全の診断目的に行う検査をいい、検査方法にかかわらず、一連として算定します。

※2 モノクローナル抗体法による造血器悪性腫瘍細胞検査について

ア モノクローナル抗体を用いて蛍光抗体法、酵素抗体法、免疫ロゼット法等により白血病細胞又は悪性リンパ腫細胞の表面抗原又は細胞内抗原の検索を実施して病型分類を行った場合に算定できます。

イ 対象疾病は白血病、悪性リンパ腫等です。

ウ 検査に用いられるモノクローナル抗体は、医薬品として承認されたものであり、検査に当たって用いたモノクローナル抗体の種類、回数にかかわらず、一連として所定点数を算定します。